

令和5年度



唐桑中学校

校長室だより No.8

令和5年12月13日発行

二星



学校 HP はコチラ



御挨拶に代えて（学年 PTA 懇談会）

校長 菅原 英二

朝は希望に生まれ、昼は努力に生き、夜は感謝に眠る

なかなかたどり着けない境地ですが、日頃、頭の片隅に置き続けている言葉です。個人的には難しくとも、学校にいと、子供たちからこの姿勢を見いだすことができます。「おはようございます！」と元気にあいさつをしてくれる生徒。授業中、頭を抱えながらも一生懸命にノートに書き込んでいる生徒。出張から帰ってくると、「お疲れさまです！」と言葉をかけてくれる生徒。子供たちから、この言葉の真意を気付かされ、次々と新たな学びと感動が生まれる唐桑中学校を、心から誇りに思います。

夏休みからこの時期まで、子供たちはそれぞれに精一杯過ごしてきました。特に、生徒によるアイデアや企画を生かして取り組んだ文化祭や運動会では、はちきれんばかりの笑顔と歓声にあふれ、保護者の皆様にも御支援をいただいたことで、子供たちは大きな満足感と達成感を得ることができました。

昨年度の3年生にも驚かされたものですが、今年の3年生の成長ぶりにも目を見張ります。

リーダーとしての自覚、最上級生としての誇り、あるべき姿を描き、その実現に向かって精一杯に取り組む姿勢。おそらく、今日行われた発表会でも、それぞれが手を抜くことなく精一杯に発表し、後輩の言葉に耳を傾けたことでしょう。また、場面が許せば、自分の意見も述べたことと推察します。その姿、子供たちの成長ぶりを保護者の皆様にお目かけられることを本当にうれしく思います。

では、なぜ唐桑中学校の3年生は、昨年も今年も素晴らしいのか？

先生方もそれぞれに、子供たちの成長を願い、取り組んでくれていることも大きいですが、もっと大きいのは「保護者の皆様の姿である」と確信しています。ご多用のためにお越しいただけない方ももちろんいらっしゃいますが、お越しいただいた保護者の皆様は、お休みになった方の分を補って余りあるほどの協力体制を見せてくださいます。

今年度についても、PTA 奉仕作業や、保護者と子供の有志による「はまらいんや」、放課後の太鼓練習における練習への参加、本部役員会や専門部会での取組……。また、メディアコントロールデーでも、たくさんの皆さんがコメントを書いています。さらには英語検定や漢字検定を受検する生徒も多い。これも、保護者の皆様が子供たちに受検を勧め、励まし、受け入れてくださっている温かな支援の成果です。三者面談や弁当持参日等、急な変更があった場合の連絡に対しても懐深く受け止めてくださり、そのお心遣いには驚くばかりです。感謝してもしきれないほどの有り難みを感じています。

保護者の皆様のお心遣いにより生まれる好循環～伝統の力～

そんな保護者の皆様の、学校からの願いや思いを汲み取り、協力を惜しまないお心遣いを、いつも子供たちは目にしているわけです。安心して挑戦できる環境にあるため、子供たちも、その期待に応えようと様々なことに挑戦できます。そして、そのような保護者の皆様や子供たちからエネルギーを受け取り、子供たちのために更に頑張ろうとする先生方。その支援を受けて生き生きと実力を伸ばす子供たち……。

このサイクルが、3年生だけではなく、下級生にも受け継がれ、唐桑中学校の伝統の力になっているのだろうと想像するところです。4月からのこの期間は、唐桑中の伝統に力を受け、多くの生徒や教職員が「新たな自分の可能性」を見いだした、まさに「維新（これあらたなり）」というべき期間となりました。皆様のこれまでのご厚情に対し、心から感謝申し上げます。

今後も、「心から人間と社会を愛し、創造力に富み、実践力のある生徒」を育成していけるように職員一同、尽力してまいります。これまでと同様の御支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。